

神奈川大学工学部 電子情報フロンティア学科 同窓会会報

平成21年10月 No.17
〒221-8686
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学
電子情報フロンティア学科同窓会
TEL:045-481-5661(大学代表)
FAX:045-491-7915(大学代表)
E-mail: dousoukai@or.tv
<http://dousoukai.or.tv>

設立70周年記念式典と総会開催さる！

2008年10月19日(日)

昨年秋の学科創立70周年記念式典にあわせて同窓会総会が開催され多数の卒業生の参加を得て盛会のうちにお開きとなりました。また、式典に先立って研究室の見学会も開催されました。

同窓会会長挨拶

藪田和夫(昭和27年卒)

同窓会会長の大役をお引き受けして、早いもので7年が経ちました。この間、同窓会役員の方々、学科の先生方を中心に同窓生の皆さまの協力を得て、同窓会組織の充実、学科への協力体制の強化等に取り組んで参りました。昨年度には学科創立70周年を迎え、学科主催の記念式典および学科祝賀会と合同の同窓会懇親会に立ち会う榮譽を頂きました。皆さまのご協力により盛会の内に行事を実施できましたことに感謝致しますとともに、私自身も大変、安堵いたしております。

とは言いましても、一方で学科の今後の10年を想うとき、少子化、受験生の工学部離れ、経済の悪化による就職難等の世相から、必ずしも平坦な道ではないとも考えております。今後の10年を学

科と同窓会に捻り多きものとするためには、同窓会組織と学科への協力体制を更に充実する必要があると考えております。

会員の皆様の平素のご尽力に感謝致しますとともに、多数の皆様方のご参加を頂き、学科創立80周年に向けた同窓会および学科の一層の発展のために、積極的なご意見・ご提言を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

総会・懇親会便り

平成20年度総会・懇親会は10月19日(日)に開催されました。総会では、平成19年度収支決算および平成20年度事業計画等がどこおりなく承認されました。総会に引き続き開催された学科創立70周年記念行事と祝賀会・懇親会には藪田同窓会会長、穴田副会長(学科主任)をはじめ、多数



の会員の方、学科の先生方の他、学長、工学部長、理学部長、宮陵会役員の方々のご出席を頂き、終始和やかな歓談が行われました。なお、今年度の同窓会総会・懇親会は大学主催のホームカミングデーに合わせ、10月18日(日)に開催されます。会員の皆様方の多数のご参加をお待ちしております。



70周年記念式典の一コマ

◆電子情報フロンティア学科の近況報告◆

昨年10月19日(日)に電気工学科開設70周年を迎え、大勢の卒業生の方にご参加いただき、卒業生の大学を思う熱い気持ちに感謝いたします。教職員においては本学科をより発展させることが使命であると痛感いたしました。ここにあらためて感謝申し上げます。そのときの一コマを載せました。昭和44年卒の「日本光電工業専務取締役・原澤様」の熱い祝辞の様子です。



最近の大学の近況について報告させていただきます。最近の高校生の理科離れが進み、とりわけ工学部の中でも電気・電子・情報分野の不人気が続いている中、近隣の小学生に「ものづくり」のおもしろさを伝えるための社会貢献として、子供サマースクールを実施しました。今年度は、「エコ発電を体験しよう」というテーマで、小学

生30名に実験に参加してもらいました。子供たちにとっては、夏休みの自由工作やいい思い出になったのではないのでしょうか。なお講師の先生は岩村講師、佐藤講師、大出講師、天沼講師にご担当いただきました。



子供サマースクールの様子

これから秋に向けて当学科では、文部科学省の認証・評価を受けなければなりませんので、その準備に追われています。これは、平成12年の大学評価・学位授与機構への改組、平成16年の独立行政法人化を経て、全ての大学は、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価を受けることが義務付けられ、高等教育をとりまく環境が大きく変化しました。平成17年度から申請のあった大学等に対して認証評価を実施し、評価結果を公表されるので、受験に影響します。さらに、神奈川大学の工学部は、日本技術者教育認定機構(JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education / 設立1999年11月19日)の審査を受けるために、全教職員が鋭意努力しているところです。これはメーカーでのISO9000のようなものに相当し、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかを公平に評価し、認定するために行われるものです。

そして、本年度末に許瑞邦教授が定年を迎えら

れます。許先生は1967年3月に東京大学工学系大学院電気工学専攻の博士課程を修了され、同年4月に神奈川大学に専任講師として着任されました。翌年助教授に、1978年には教授に昇格され、本学科の要として研究と教育に精力的に携わられました。40年以上の年月を本学の発展のためにご尽力いただいたことに対しまして、この場を借りて本学教職員ならびに卒業生一同を代表して厚く御礼申し上げます。

70年を越える本学科の伝統を支え、益々の発展を目指して、本学科はこれからも邁進していく所存です。今後とも、卒業生の皆様のご支援のほどよろしく願いいたします。

学科主任 穴田哲夫、土屋健伸

寄稿 (昭和33年卒、秋田琢次)

昭和33年卒業の秋田です。現在、神奈川大学の同窓会組織、社団法人、宮陵会の副会長、学科同窓会副会長をお引き受けしております。この関係上、神奈川大学および電子情報フロンティア学科の現況をご紹介させて頂き、また母校の将来に向けた同窓生の皆様へのご尽力をお願い致したく、筆を取った次第です。

母校神奈川大学工学部電子情報フロンティアも昨年、設立70周年を迎え10月19日(日)に記念式典と祝賀会が盛大に横浜キャンパスで挙行されました。平成21年3月で卒業生は大学院を含んで13,072名の多くに達しました。卒業生は広い分野に亘り、国際的にも目覚ましい活躍をしております。そこには多くの卒業生諸兄が改革発展に努力を惜しまず、その時代に適応しながら情熱を注ぎ、今を迎えられました。

また、宮陵会も横浜専門学校「同窓会」として大学に遅れること10年して設立(昭和12年3月)され、齢を重ねて71年目を迎えました。先日5月24日(日)、平成21年度第1回代議員会議、通常総会に於いて任期満了に伴う代議員改選で423名、役員改選で狩野七郎会長(30・質)再任、他三役、副会長3名、荒井(33・質)、秋田(33・電)、武笠(41・法)、専務理事3名、小川(37・機)、大場(44・経)、平能(48・質)が再任され、平成21,22の2年間、宮陵会の運営を担当致します。どうぞよろしくお願い致します。

事業計画では大学の進展と維持の援助、会員相互の連携、各地方支部の強化、ブロック組織の新たな立ち上げを含む事業活動予算172,628千円が

決定され、決意も新たに新年度がスタートしました。

今、私学をめぐる環境は大変激しく大競争の渦中にあります。母校神奈川大学は「質実剛健」、「積極進取」という建学の精神に、創立者米田吉盛の志を踏まえ新たに「中正堅実」を加えて現況に果敢に挑戦している姿は大変嬉しく、卒業生として誇りに思います。

私たちは新理事長伊藤文保氏、中島学長からの強い要望に応え、かつての様に地方からの受験生確保、地方支部の維持・活性に意を用い、全国のブロック会組織を構築し、あらゆる機会を通して、母校の「世界、そして未来へ」の発信に尽力致したいと考えております。今後とも皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

寄稿 石合慎吾(平成2年卒、平成4年修士修了)

皆様いかがお過ごしでしょうか。平成4年3月に修士課程を修了した石合です。当時は松下研究室で、松下教授、阿部助手の指導の下、複合磁性体の磁化特性についての研究を行っていましたが、バブル末期の勢いに乗り、同年4月に電源開発(株)に入社。早々に原子力部門に配属となり、以降、原研機構(当時、動燃事業団)のふげん発電所での運転業務、東北電力(株)女川原発3号機での建設業務を経験し、現在は商業用としては世界初のフルMOX-ABWRという原子力発電所を青森県下北半島に建設、運営すべく、電気計測制御設備の設計業務を行っています。当社の原子力発電所(大間原子力発電所)は、今年4月に国の原子炉設置許可、翌5月に国の工事計画認可を受け、本格工事に着手したばかりで、これからの建設、系統試験、試運転など、発電所の営業運転開始までまだまだ先は長く、当社が初めて経験する業務も多いですが、他社原子力部門での経験を基に精力的に取り組んでいるところです。日常の業務としては、原子力事業特有の国の許認可対応のほか、発電所の設計、建設に関わる設計管理では、プラントメーカーを相手にユーザとしてのエンジニアリングを行っています。百戦錬磨のメーカーさんとの協調も、過去の運転、建設の経験が相当役立っているようです。原子力分野は、海外では米国で新規発電所の建設が始まるなど追い風が吹いていますが、国内ではこの冬から新検査制度が導入されることともあり、なかなか厳しい状況です。皆様の業界はいかがですか?これまで神大出身の方々

一緒に仕事をする機会は皆無でしたが…。今後、仕事でお会いする機会があれば、よろしく願い致します。

寄稿 (昭和58年卒 水野喜之)

私の在席した斎藤隆弘先生研究室は、まだ発足2年目でしたので、研究機材はミニコンと呼ばれる16ビットのマシが1台あるだけでした。何と5インチのフロッピーディスクからOSを起動させ、シングルユーザーでインタラクティブに使用します。今のパソコンと全く同じようでしたが、当時は東大大型計算センターを利用(計算プログラムやデータをカードにパンチしたものを数百枚

用意して、神大内の指定された部屋に持ち込み、東大に回線接続されたカードリーダーで読み込ませ、バッチ処理で計算結果を出す)の時代でしたので、そのミニコンの存在は画期的なものでした。研究室には8人ほど在席しており、土日・深夜も含め、このミニコン使用の時間割表を作っていました。私は斎藤先生が当時まだ使用されなかった教授室にベッドを持ち込み、もっぱら深夜利用専門でしたが、このミニコンを前にするのが、とても楽しみでした。その後、このミニコンのメーカーに就職しましたが、他の会社を買収されたりで、私も転職してしまい、当時の会社を思う度に、斎藤研で深夜ワクワクして画像処理のシミュレーションをしていたことを良く覚えています。

平成19年度神奈川大学電子情報フロンティア学科同窓会収支

2007年10月1日～2008年9月30日

収 入		支 出	
会費	294,000	通信費	
2000円x 137名		総会案内・会報郵送費	468,990
3000円x 2名		(5211通)	
4000円x 1名		発送作業費	90,000
10000円x 1名		切手、ハガキ	3,400
		30枚x80円	
		20枚x 50円	
		通常払い込み料金加入者負担	12400
預金利息(10月+4月)	6,188	印刷用費	
19年度懇親会黒字	912	〔会報、お知らせ、ご案内〕	202,230
		会費納入状況、はがき	
		封筒	
		振り替え用紙印字サービス	8,100
		消耗品	9,380
平成19年繰越金	3,809,644	プリントラベル紙	
		レンタルサーバー代	8,820
		会費	850
		次年度繰越金	3,306,574
収入合計	4,110,744	支出合計	4,110,744
		収入合計-支出合計	0

平成20年度神奈川大学電子情報フロンティア学科同窓会予算(案)

2008年10月1日～2009年9月30日 (単位円)

収 入		支 出	
会費	300,000	通信費	70,000
預金利息(4月1日)	6,000	印刷費	15,000
		口座振替受取人払い	15,000
		会合費(幹事会)	2,000
		レンタルサーバー代	8,820
		事務用品	5,000
		平成20年度懇親会予備費	100,000
平成19年度繰越金	3,306,574	次年度繰越金	3,396,754
収入合計	3,612,574	支出合計	3,612,574
		収入合計-支出合計	0

同窓会からのお知らせとお願い

・会費の払い込みについて

平成20年度会費を同封の払込用紙で郵便振替口座(00200-8-42851)にお振り込みください。年会費2千円で、その際卒業年月、1部・2部・短大・大学院を必ずご記入ください。本同窓会は神奈川大学の同窓会であり「社宮陵会」とは別組織となっております。その点をご理解して戴き、ご支援・会費の納入をお願いいたします。

・現住所等の連絡について

住所変更がありましたら同封のハガキ、FAX:045-491-7915, E-mail: ueoka@kanagawa-u.ac.jp または会費払込の際に通信欄にてお知らせください。本同窓会会員の住所は「社宮陵会」のデータに基づいておりますので住所変更等の連絡は、どちらかにお願いいたします。また、会員皆様のご意見、ご要望、近況をお待ちしております。今後とも会員皆様のご支援の程よろしくお願い致します。

・役員・クラス委員・支部長の推薦のお願い

同窓会では役員、支部長(北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州)、クラス(年度)委員の推薦をお願いしております。自薦、他薦いづれでも結構です。連絡をお待ちしております。